

福祉科 縦割り学習

9月22日（金）、福祉科の縦割り学習を行いました。3年生が、今まで実習等で学んだ知識と介護技術を、後輩の1、2年へ伝授する機会となりました。1、2年生の生徒も、メモを取りながら、一生懸命学んでいました。

★今回伝授した介護技術★

- ①レクリエーション
- ②おむつ介助、タオル移乗
- ③水分介助
- ④着脱介助
- ⑤ボディメカニクスを活用した移乗
- ⑥残存機能を活用した介護技術



お互いに成長できた縦割り学習にすることができました



各学年の感想をまとめました

3年生

- 介助のポイントを分かりやすく伝えることがとても難しかったです。間違っただけを教えるにはいけないという責任もあるし、後輩が学びたいことは何なのか考えながら行えたので良かったです。
- 自分自身も介護技術を振り返られました。また私が分かっても伝わらなければ意味がないので、1つ1つ丁寧に説明することを心がけました。
- 練習や準備の時はスムーズに行うことができませんでしたが、本番では声かけをしながら行うことができました。しかし、服を着ていただく時、服を引っ張ってしまい、実際には表皮剥離が起こってしまう可能性があるため、気をつけて行えると良かったと思いました。
- 自分たちの説明を1つも聞き逃さないという姿勢がみられました。今回各ブースで3年生が伝えた内容を今後の実習で活かしてより内容の濃いものにしてほしいです。
- 「なぜこのような介助をするのか」「介護者役をやってみたい」等積極的に学ぼうとしている姿が感じられて、一生懸命知ろうとしてくれていると嬉しく思いました。

2年生

- 介護をする中で、利用者や自分たちの負担を減らすために、さまざまな工夫が行われており、また利用者1人1人に合った介助を提供していかなければならないことが分かった。
- 授業で習ったことだけを使うのではなく、そこからどのように工夫し、応用に使えるようにするのかを考えて実践に移せるようにしたいです。
- 私たちも3年生になったら先輩たちのように学んだことを教えないといけないので、次の実習から学んだことや教えてもらったことを自分の力にできるようにしたいと思います。
- 先輩たちが実習に真剣に取り組んでくださったからこそ私たちが実習を受けることができていることを忘れずに実習に行ったら真剣に取り組むようにしたいです。

1年生

- 先輩方の教え方は本当に分かりやすかったです。それは介護のことをしっかりと理解しているからだと思います。自分が理解していないと、他の人に説明することはできないと思います。私は何となく理解していた所があるので、しっかり理解することが大切だと思いました。
- 先輩の取り組み姿勢から学んだことは利用者さんを敬うということです。自分は「さん」と言っているのですが、先輩は「様」と言っていました。このような細かい所も意識するのだと学びました。